

ひがしやまっ子



今日の気分は？ ～きもちメーターの活用～

高知県も梅雨入りし、雨の日が増えました。思いきり外で元気に遊べない日々が続くと子ども達の気持ちはどうなっているのかとても気になります。

学校においてはタブレットを活用し始めて2年目を迎えました。各学年で様々な場面で活用することが当たり前になってきているように思います。タブレットを使用する技能もあつという間に上達し、様々な機能が使えるようになっていと感じます。



2年生以上は朝登校するとタブレットの「きもちメーター」（県内の公立小中学校が活用できるシステムです）に入力しています。

今日の体調は？ 今朝の体温を入力し、その後（よい・普通・やや悪い・悪い）から選択します。

今日の気分は？ （うれしい・普通・かなしい・おこっている）から選択します。また、コメントも記入することができます。コメントは全員が記入しているわけではないですが、学級担任が「今朝は気持ちよく目覚めたから嬉しい」「今日は金曜日でうれしい」「雨でプールができないのかも」…という子ども達の心のつぶやきを確認することができます。担任が「かなしい」気分が続いている児童に声をかけ、話を聞いたりしています。もちろん登校したらタブレットを通してではなく直接先生に話してくる児童との対話も大事にしています。様々な方法で児童の今日の様子を把握し、子ども達一人一人に寄り添っていきたいと思います。

明日も「うれしい」気分で登校できますように……。

タブレットの持ち帰りについて

学校で使用しているタブレット端末を学校だけでなく家庭に持ち帰り、家庭学習に活用できる準備を本校でも現在進めているところです。デジタルドリルの教材を学校でタブレットにダウンロードして持って帰ることになりますので、ネット環境がないご家庭でも使えます。6月20日からタブレットの回収・点検がありますので、持って帰るのは6月末から7月上旬頃になるかと思いま

す。まずは高学年から実施し、状況を確認した上で中学年・低学年へと持ち帰りを広げていく予定です。その際、タブレットは四万十市が貸し出しているものとなりますので、四万十市教育委員会作成の「タブレット端末持ち帰り学習のルール」等の文書も併せて持って帰るようになると思います。必ずご確認していただきますよう、お願いいたします。

雨の日の過ごし方



「晴耕雨読」という言葉はご存じの通り「晴れた日には田畑を耕し、雨の日には家で読書をする」という意味です。(職業にとらわれないで自由な生活を送る悠々自適な生活のイメージがありますが…。)

「梅雨の季節は読書をおすすめします！」と先週の児童朝会で校長からも話をさせていただきました。私も50年以上前の小学生の時に読んだ本で忘れられない本や感動した本が

いくつかあります。本校の子ども達にもぜひ、夢中になって読みたい本に出会ってほしいと思います。読書は成長のその時々に出会うことが大事です。一人一人興味関心が違うので押し付けられてもなかなか読みたい気持ちにならないかもしれません。数多く読んでいると感動する本に出会うのではないのでしょうか。20分休みやお昼休みには図書室に本を借りに来ている児童もいます。図書室も大勢で混雑している時は借りた本は教室で朝読書の時間や休み時間に読んだり、家に持ち帰って読んだりすることになります。ご家庭でも子どもさんと本のことを話題にしてみてください。



マルチスペースに「学校図書館からのお知らせ」「先生のおすすめの本」のコーナーがあります。教室には市立図書館から借りてきた本もあります。手にとって読んでみましょう！

ネット・ゲーム 家庭でのルールを

子どもさんが携帯電話、スマートフォン、タブレット等のネット端末を使ってゲームや友だちとのやり取りをしているご家庭もあると思います。子ども達同士の勝手なルールや深く考えずに発した言葉のやり取り等で嫌な思いをしているケースがありました。子ども同士でお金を伴う内容の交換やネット上に誤解を生む内容や悪口等は書き込んだりしないよう学級や学年で指導をしていますが、ご家庭でも子どもさんがどのような使い方をしているのか、今一度確認をし、ご家庭でもしっかり話し合いをしてから使用させるようにしていただきますよう、ご協力の程よろしく申し上げます。